議員研修報告書

１　研修参加年月日
令和４年１０月１９日（水）から１０月２０日（木）まで

２　参加場所
長野県長野市　ホクト文化ホール

３　研修事項
第１７回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

４　研修参加者（２名）
海東一弘、岩澤　信

５　行程
（１９日）
取手駅　－　上野駅　－－－－－－－－－　長野駅　－　研　　修　－　宿泊先
8:12 発　　9:38 発 はくたか 557　11:04 着　　11:30-17:00　　17:30 着

（２０日）
宿泊先　－　研　　修　－　長野駅－－－－－－－－上野駅　－　取手駅
8:45-12:30　　14:28 発　あさま 620　16:06 着　　17:13 着

６　研修報告
第１７回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野、2 日間参加。
テーマは『デジタルが開く地方議会の未来』、全国より参集され、盛大かつ華やかなフォーラムになり、大変貴重な経験をさせていただいた。
第１日目は、第１部に冨山和彦氏による基調講演『コロナ後の地域経済』と題した内容、第２部に『地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性』と題したパネルディスカッションが行われ、毎日新聞社論説委員のコーディネーターによる進行、寺沢長野市議会議長、早稲田、東京、明治各大学・大学院の教授方による大変貴重な討論等を拝聴した。
第２日目は、『地方議会のデジタル化の取組報告』と題した内容で、金澤克仁取手市議会議長、板津可児市議会議長、林西脇市議会議長による取組報告が行われた。各自治体の取組が細かに伺う事が出来、他自治体の内容も今後の参考になるものと考える。
今回のフォーラムを通して印象に残った事は、各自治体間で大きな差が生じているという事である。特に、2 日目の各議長がお話しされていた所からであり、議員各々の考え方や取組などがその差に大きく関わっており、精神論になるが『やる気』次第で大きく変わってくるものと考える。将来に向け、調査研究・学習勉強等々を関わる全員で力を合わせ進めていき、本市の更なる発展につながるよう尽力したい。

上記のとおり報告します。

取手市議会議長　金澤　克仁　殿

令和４年１１月２１日

取手市議会議員　　海東　一弘